HD-CVI 4ch デジタルハードディスクレコーダー

HR100

取扱説明書

ご使用前に、正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。 必要に応じてダウンロードをして保管下さい。

最終更新:2015 年 6 月 9 日

現在説明書ページの更新中で、説明書内はYR400の内容を使用しております。

●本製品はHD-CVI専用のレコーダーとなりますので、従来のアナログカメラには対応しておりません。

目次

1:ハードディスクの取り付け方法＆フォーマット

※録画しない場合や、ハードディスク内蔵品をご購入の場合は設定は必要ありません。

1-1:ハードディスクの取り付け方法

1-2:ハードディスクのフォーマット方法

2:防犯カメラ、モニター、音声、マウスの接続について

2-1:防犯カメラの取り付け方法

2-2:モニターの接続方法

2-3:音声の接続方法

2-4:LAN ケーブルの接続方法

2-5:マウスの接続方法

2-6:電源アダプタの接続方法

3:基本設定について

3-1:電源の ON／OFF について

3-2:パスワードの入力について

3-3:時間設定について

4:初期設定について

4-1:セットアップガイダンスについて

4-2:セットアップガイダンス一般設定モードについて

4-3:セットアップガイダンス高度設定モードについて

5:再生方法について

6:バックアップについて

7:バックアップした映像の再生について

8:ネットワーク設定について

※取扱説明書はお客様からのお問い合わせを元に、随時更新を行っております。

9:FAQ

1：ハードディスクの取り付け方法＆フォーマット

本製品で映像を録画する場合には、ハードディスクが必要となります。

「推奨ハードディスク」

メーカー：Western Digital 社

容量：500GB／1TB／2TB／3TB／4TB（※WD10EZEX は相性問題がございます。）

規格：SATA　3.5 インチ

※ご使用のハードディスクによっては相性により録画不具合に繋がる可能性があります。

※2.5 インチのハードディスクは推奨しておりません。

＜1-1：ハードディスクの取り付け方法＞

1：静電気などでデジタルレコーダー、ハードディスクが破損してしまう可能性がありますので、静電気を除去していただくか、ビニール手袋などを装着して下さい。

2：デジタルレコーダーの側面と背面にあるネジを外してカバーを取り外します。

3：ハードディスクにSATAケーブルと、SATA電源ケーブルを接続します。
※ケーブルには差し込む向きがありますので、確認の上接続を行って下さい。

4：ハードディスクをデジタルレコーダーへネジで固定します。

4：SATA ケーブルと、SATA 電源ケーブルを基盤に接続します。

※ケーブルには差し込む向きがありますので、確認の上接続を行って下さい。

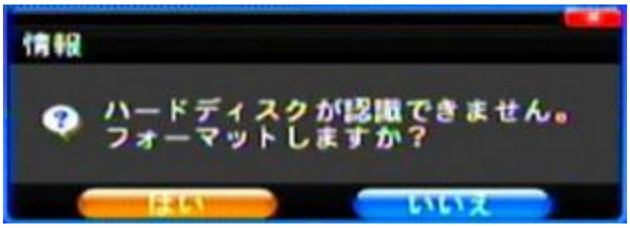
5：デジタルレコーダーのカバーを取り付けて、ネジで固定して下さい。

<1-2:ハードディスクのフォーマット方法>

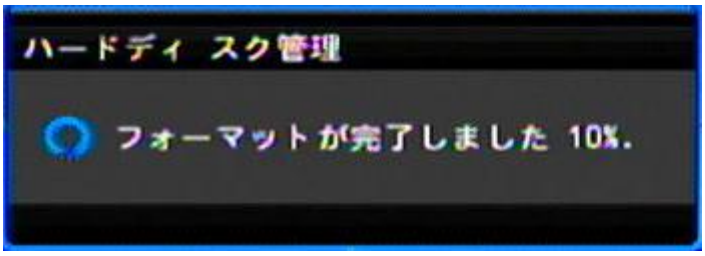
未フォーマットの場合

1：ハードディスクの取り付けが完了したら、付属の電源アダプタを接続して下さい。アダプタを接続していただくと電源が入り、自動的にシステムが起動します。

2：未フォーマットのハードディスクが取り付けられている場合は、画面に「フォーマットをしますか？」というメッセージが表示されますので「はい」を選択して下さい。



自動的にフォーマットが開始され、パーセンテージが表示されます。
※フォーマットはハードディスクの容量によって数分かかります。



3：表示されている画面が消えたらフォーマット完了です。

再フォーマットの場合
※録画映像を消したい場合やハードディスクの動作がおかしい場合など
1：メインメニュー→システム設定→ハードディスク管理を開いて下さい。

2：フォーマットするハードディスクを選択して、フォーマットボタンを選択します。

3：フォーマットが開始され、パーセンテージが表示されます。

※フォーマットはハードディスクの容量によって数分かかります。
表示されている画面が消えたらフォーマット完了です。

2:防犯カメラ、モニター、音声、マウスの接続について

＜2-1:防犯カメラの取り付け方法＞

1：防犯カメラからのケーブルを VIDEO-IN と書いてある CH1～CH4 に接続します。
※接続する順番はありません。
※4 分割で表示される場合は下記の表示になります。
CH1→左上
CH2→右上
CH3→左下
CH4→右下

2：接続方法はケーブルの先端にあるコネクタを持って、接続し回していただくとロックがかかる仕組みになっております。

3：カメラ台数分ケーブルをデジタルレコーダーへ接続して下さい。

＜2-2:モニターの接続方法＞

付属のモニター出力ケーブルの場合（テレビモニターなど）

1：付属ケーブルのコネクタ（BNC）部分を持って、A/V-OUT と記載がある V-OUT に接続し回していただくとロックがかかる仕組みになっております。

2：モニター側は、黄色、赤色、白色のうち、ビデオ入力端子の黄色の部分に接続をして下さい。差し込んでいただくことで接続ができます。

別売のVGA出力ケーブルの場合（パソコンモニターなど）

1：コネクタの先端を持って、向きに注意してVGAと記載があるところに接続し、左右のネジを締めて固定します。

2：モニター側も同様に向きに注意して接続し、左右のネジを締めて固定します。

＜2-3:音声の接続方法＞

1：マイクケーブルはAUDIO-INと書いてあるCH1～CH4に接続します。
※接続する順番はありません。

2：スピーカーケーブルは、A/V-OUTと記載があるA-OUTに接続して下さい。

＜2-4:LANケーブルの接続方法＞

LANケーブルは、NETWORKと記載があるところに接続します。

＜2-5:マウスの接続方法＞

マウスはUSBタイプのみ使用が可能となっております。
付属のUSBマウスをUSBと記載があるところに接続して下さい。
接続場所はどちらでも大丈夫です。

＜2-6:電源アダプタの接続方法＞

電源アダプタはDC-12Vと記載があるところに接続して下さい。

コンセントは家庭用の100V電源コンセントへ接続を行って下さい。

3:基本設定について

＜3-1:電源のON／OFFについて＞

電源を入れる方法

電源は、アダプタを100Vの家庭用コンセントに接続していただきまして、デジタルレコーダーに電源アダプタを接続していただくことで電源が入ります。

電源を切る方法

1：マウスを画面の一番下側にスライドしていただくとアイコンが表示されます。

2：一番右側のログアウトというボタンをクリックして、電源を切るを選択して下さい。

3：ログイン画面が表示されたらユーザーとパスワードを入力して確認を選択して下さい。

「初期設定」ユーザー：admin　パスワード：なし（空白）

4：画面が真っ暗になったら、電源アダプタを抜いて完了です。

＜3-2:パスワードの入力について＞

初期設定のユーザーとパスワードにつきましては下記の通りです。

ユーザー：admin　パスワード：なし（空白）

＜3-3:時間設定について＞

1：マウスを右クリックしていただきましてメインメニューを選択して下さい。

2：ログイン画面が表示されたらユーザーとパスワードを入力して確認を選択して下さい。

「初期設定」ユーザー：admin　パスワード：なし（空白）

3：上に表示される5つのアイコンからシステム設定を選択して下さい。（右から2番目）

4：日付表示、時間表示、日付設定、時間設定をそれぞれ設定して下さい。
日付表示→年月日の並び順
時間表示→12 時間表示と 24 時間表示
日付設定→現在の日付
時間設定→現在の時間
5：設定が出来ましたら「時間設定」をクリックしていただくと設定が反映されます。

4:初期設定について

＜4-1:セットアップガイダンスについて＞

本製品には、設定項目が順を追って分かるように、設定ナビ（セットアップガイダンス）が搭載されております。

一般設定モード

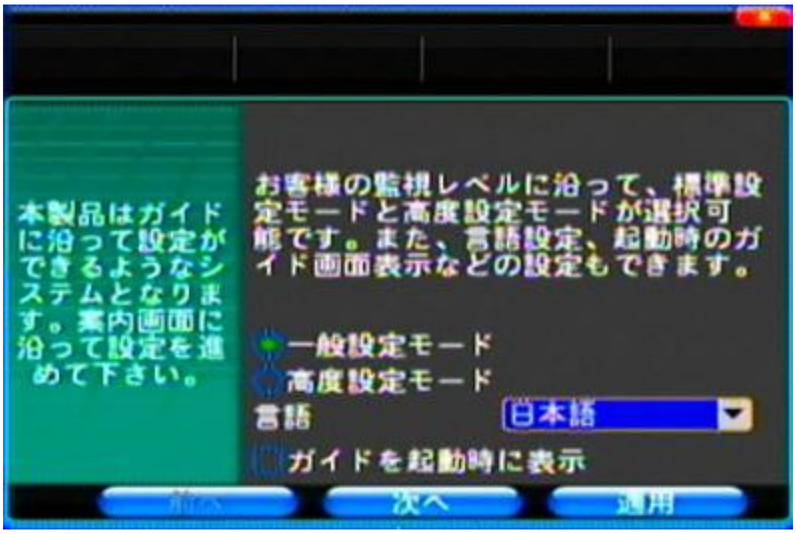
初めてのお客様向けの設定モードになります。

高度設定モード

防犯カメラを使用したことがあるお客様向けの設定モードになります。

＜4-2:セットアップガイダンス一般設定モードについて＞

1：マウスを右クリックしていただきまして、セットアップガイダンスを選択します。
2：一般設定モードにチェックをしていただいた状態で「次へ」を選択します。



3：基本設定画面が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

「リモコン ID」本製品にはリモコンありませんので設定不要です。

「型番」本製品では使用しませんので設定不要です。

「日付表示」年月日の並び順

「時間表示」12 時間表示と 24 時間表示

「日付設定」現在の日付

「時間設定」現在の時間

「サマータイム」

サマータイムを設定する場合に使用します。

チェックが入っている状態が有効です。

「NTP 設定」

インターネットに接続されている場合は、自動で時間調整を行ってくれる NTP 設定が使用できます。

「時間設定」
時間変更を行ったあとは「時間設定」を押して反映させて下さい。
設定が完了したら、次へを選択して下さい。

4：ハードディスク管理が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

「ハードディスクが一杯になったときの動作」
自動上書きか録画停止を選択することができます。
「ファイル時間」
録画ファイルの単位になります。
「容量表示について」
ハードディスクの総容量と空き容量が表示されます。
「フォーマット」
ハードディスクのデータを初期化する場合に使用します。
フォーマットを行う場合は、録画を停止してから行って下さい。
設定が完了したら、次へを選択して下さい。

5：録画設定画面が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

「チャンネル」

設定するカメラチャンネルを選択できます。一括で全チャンネルに設定を行う場合は、全部を選択して下さい。

「画像サイズ」

録画する画像サイズになります。サイズは 720P のみとなります。

「フレームレート」

1 秒間に録画するフレーム数になります。20 以上で滑らかな動画映像となります。

「画像タイプ」

録画する場合の画面の撮影方法についての設定になります。

変動→部分的に映像の変化を捉えて録画します。

固定→画面全体の映像の変化を捉えて録画します。

※動体検知の機能とは異なります。

「画質」

画像の鮮明度の設定になります。1 が低い設定で 5 が高い設定になります。

「ウォーターマーク」

改ざん防止機能になります。映像の不正編集などを防ぐ設定になります。

「プリアラーム」

録画開始前の数秒間を録画する場合に使用します。

例えば、動体検知で録画の場合に、動きが始まってから録画する場合と、動きが始まる数秒前から録画する場合に使用する設定項目になります。

「オーディオ」

音声入力をする場合は、開くを選択して下さい。

設定が完了したら、次へを選択して下さい。

※サブストリーム設定につきましては、遠隔監視の場合の画質設定となります。

6：チャンネル名の設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

「チャンネル」
設定するカメラチャンネルを選択して下さい。
「チャンネル名」
各カメラに名前を付けることができます。（英数字のみ）

「チャンネル表示」
チャンネル名を表示する位置を指定することができます。
「時間表示」
時間を表示する位置を指定することができます。
設定が完了したら、次へを選択して下さい。

7：録画スケジュールの設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

「チャンネル」
設定するチャンネルを選択して下さい。全チャンネル同じ設定にする場合は全部を選択して下さい。
「設定方法について」
本製品にはアラーム録画機能がありませんので、連続録画か動体検知のどちらかの設定になります。連続録画→常時録画を行います。　動体検知→動きがあったら録画します。
1）連続録画か動体検知のどちらかにチェックを入れて下さい。
2）録画したいマス目に左クリック、もしくはドラッグして色を付けて下さい。
録画が不要なマス目には右クリックしていただくと白く表示され録画されません。
マス目は、縦軸が日曜日から土曜日で、横軸が0時～24時までの1時間単位のメモリになっております。
設定が完了したら、次へを選択して下さい。

8：ネットワークの設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。
ネットワーク設定は、パソコンから映像を見たり、スマートフォンから映像を見る場合に設定する項目となります。設定が不要なお客様は次へ進んで下さい。

※外出先のパソコンやスマートフォンで映像を確認する場合は、固定 IP アドレスやダイナミック DNS の取得、ルーターの設定が必須となっております。

※当店では LAN 内での閲覧のみサポートさせていただきます。

「DHCP」「UPnP」

どちらのチェックを入れない状態にしてください。

「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」「DNS サーバー」

ネットワーク環境に応じて設定して下さい。

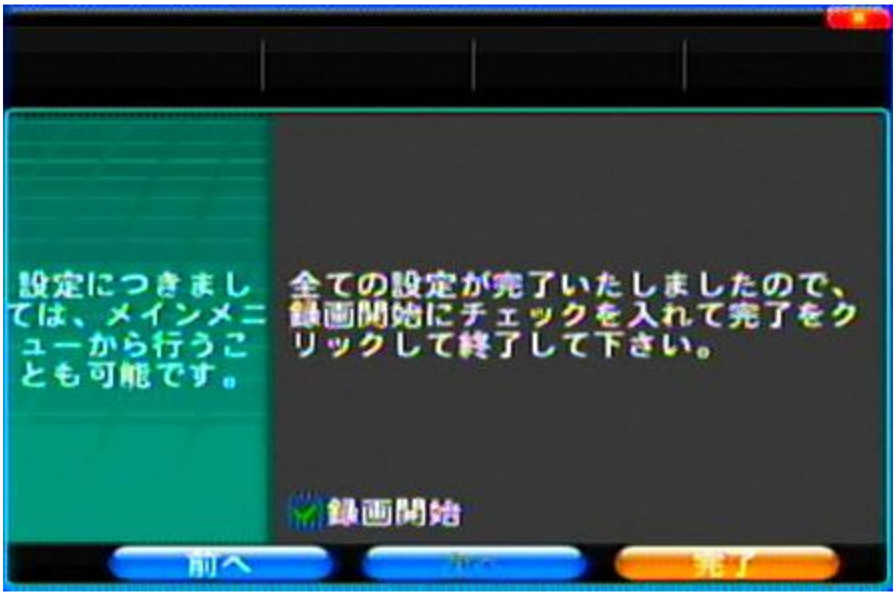
「サーバーポート」「HTTP ポート」「携帯ポート」

ネットワーク環境に応じて設定して下さい。

※携帯ポートはスマートフォンから閲覧する場合に設定するポート番号になります。

「PPPoE＆3G」と「DDNS 設定」につきましては、国内サポートを行っておりません。

9：全ての設定が完了いたしましたので、録画を開始する場合には、録画開始にチェックを入れて「完了」を選択して下さい。



「注意」
スケジュール録画を適用させる場合は、下記操作を行って下さい。

1：マウスを右クリックして、録画方法を選択します。

2：自動録画と全部が交わる部分を選択します。

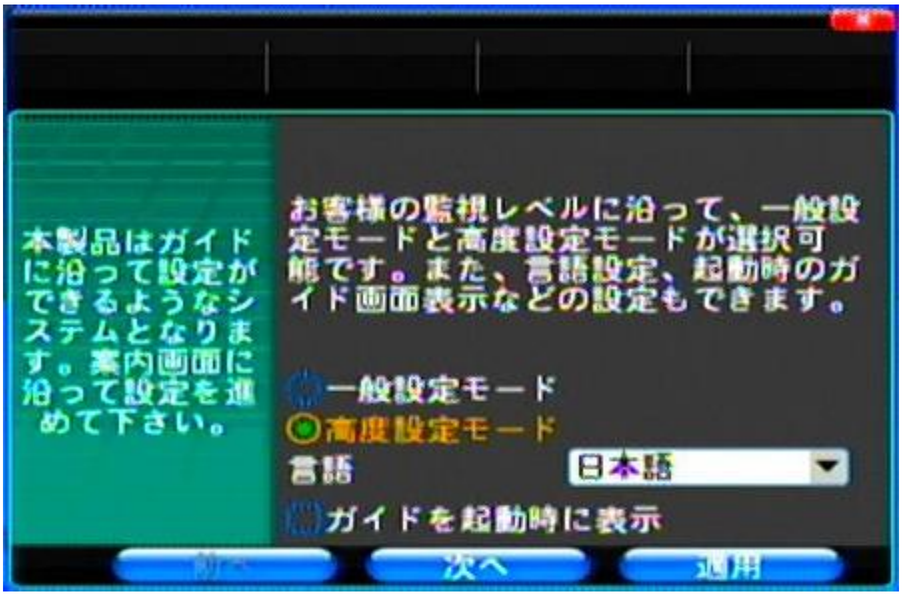
3：確認を選択するとスケジュール録画が適用されます。
4：保存が完了したら右上の×印で画面を閉じて下さい。

手動録画は、常時録画の設定になりまして、録画停止は録画がされない状態です。
下図のように、自動録画と手動録画をチャンネルによって変更することも可能です。

＜4-3：セットアップガイダンス高度設定モードについて＞

1：マウスを右クリックしていただきまして、セットアップガイダンスを選択します。

2：高度設定モードにチェックをしていただいた状態で「次へ」を選択します。



3：基本設定～ネットワーク設定までは一般設定モードと同じです。
4：PTZ 設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。
PTZ 設定とは、パン・チルト・ズーム（上下左右ズーム）ができるカメラを接続した場合の設定になります。※映像線とは別に信号線の接続も必要となります。

「チャンネル」
設定するカメラチャンネルを選択します。
「PTZ プロトコル」
PTZ カメラの対応プロトコルを選択します。
「PTZ アドレス」
PTZ カメラに設定されているアドレスをセットします。
「ビットレート」「データビット」「ストップビット」「データチェック」
PTZ カメラのメーカー様にご確認いただきまして、それぞれ設定を行って下さい。

5：映像設定や動体検知設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

映像設定項目

「ビデオ信号」
日本国内では NTSC 信号を使用します。
「チャンネル」
設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。
「プライバシーエリア」
カメラ映像内で映したくないエリアを設定することができます。
「ビデオ信号異常」
カメラ映像に異常があった場合に、ブザーを鳴らす設定ができます。
※Email 送信、アラーム出力は未対応です。

動体検知項目

「チャンネル」

設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

「感度設定」

動きがあったときに録画する感度設定になります。

どれぐらいの動きで録画するか設定が可能です。1 が感度が鈍く、5 が敏感に反応します。

「検知エリア」

カメラ映像内で、動体検知をするエリアを設定できます。

緑色のマス目→選択状態です。左クリックで選択になります。

白色のマス目→未選択状態です。右クリックで未選択になります。

完了したら右上の保存を選択して下さい。

「アラームブザー」

動体検知をした場合にブザーで知らせてくれます。

※Email 送信は未対応です。

「連動するカメラ」
動体検知をしたときに、録画するチャンネルを選択できます。
（例）チャンネル１で動きがあった場合に、１と２のカメラを録画する。
「アラーム出力」
未対応です。

6：ユーザー管理設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。

「権限の種類」
設定項目に応じて、詳細に設定をすることが可能です。
「新しく追加する場合」
1）追加を選択します。
2）ユーザー、パスワード、パスワード確認を入力して、追加を選択します。
3）使用者権限によって、権限の項目にチェックを行って下さい。

「既存パスワードを変更する場合」
1）パスワード編集を選択して下さい。
2）該当のユーザーを選択して、パスワードを変更して下さい。

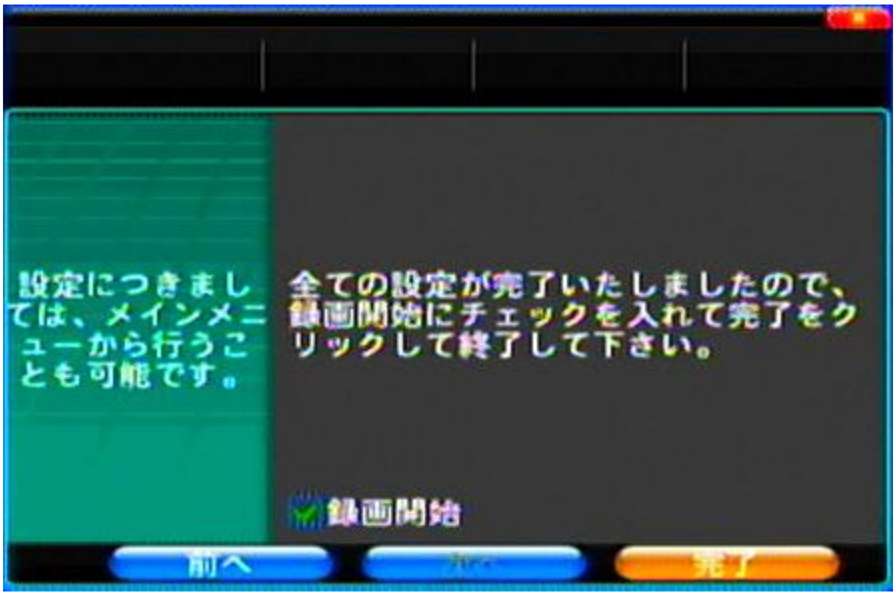
「既存ユーザーの権限を変更する場合」
1） ユーザーを選択して、権限のチェックを入れたり外したりします。
2） 編集ボタンを選択していただくと更新されます。

「既存ユーザーの削除」

1） ユーザーを選択して、削除を選択します。

7：アラーム設定が表示されますので、下記に設定項目についてご案内致します。
本製品はアラーム端子を設けておりませんので、設定することは出来ません。

8：全ての設定が完了いたしましたので、録画を開始する場合には、録画開始にチェックを入れて「完了」を選択して下さい。



「注意」
スケジュール録画を適用させる場合は、下記操作を行って下さい。

1：マウスを右クリックして、録画方法を選択します。

2：自動録画と全部が交わる部分を選択します。

3：確認を選択するとスケジュール録画が適用されます。

4：保存が完了したら右上の×印で画面を閉じて下さい。

手動録画は、常時録画の設定になりまして、録画停止は録画がされない状態です。
下図のように、自動録画と手動録画をチャンネルによって変更することも可能です。

5:再生方法について

1：マウスを右クリックして、再生&バックアップを選択します。

2：画面が切り替わりグラフが表示されますので、年月日を選択して、カレンダーから再生したい日付を選択して下さい。（録画されている日付は色が変わります。）

3：グラフに録画されているカメラと時間帯が交わる部分に、録画モードによって色がつきますので、再生したい時間帯を選んで、画面左下の再生ボタンを選択して下さい。
※グラフは、グラフ左上の「−」と「+」で縮小と拡大が可能になっております。
※グラフの上にあるスライドバーで表示される時間帯を変更できます。
※ピンポイントで時間指定したい場合は、グラフ右下の時間表示の部分を設定して下さい。

時間設定画面

4：早送りは再生ボタン（一時停止）の上にある右に向いている三角 2 つとなります。
左右に向いてる三角は通常速度で、左に向いている三角 2 つはスロー再生となります。
※停止ボタン右側のスライドバーを使って、時間を早くしたり遅くしたりすることができます。

再生画面の説明

① 再生するカメラの選択ボタンになります。チェックが入っているカメラが再生されます。
② グラフの時間単位の変更ボタンになります。「-」が時間単位が大きくなり、「+」が小さくなります。
③ 時間単位を変更した場合に、別の時間帯を表示できるようにスライドバーが付いておりますので、見たい詳細な時間をスライドしてチェックできます。
④ 「-」がグラフ画面の非表示ボタンで、「×」が再生画面を消して、リアルタイムの映像画面に戻るボタンになります。
⑤ 録画している時間帯のカメラを全て同時に再生するか、再生したいカメラだけを選択できるようにするか、変更できるボタンになります。
鍵マークが黄色の場合→選択した時間は全てのカメラが同時再生されます。
鍵マークが赤色の場合→グラフのなかで選択した部分のみ再生されます。
⑥ スロー再生のボタンになります。（1/2～1/25 まで対応）
⑦ 通常速度に戻すボタンになります。（スロー再生や早送りをした場合）

⑧ 早送りボタンになります。(2～8 倍まで対応)
⑨ ミュート機能です。音声が録音されているときに、音を出したり消したりできます。
⑩ 音量ボタンです。
⑪ 分割画面です。1 画面と 4 分割の切り替えが可能です。
マウスを画面上でダブルクリックすることで 1 画面と 4 分割の切り替えも可能です。
⑫ グラフの表示、非表示ボタンです。
⑬ カレンダーが表示されます。
⑭ 再生している年月日、またはカレンダー表示です。
⑮ 再生している時間、または再生時間の指定ができます。
⑯ 映像のバックアップができるボタンです。
⑰ 再生／一時停止ボタンです。
⑱ 停止ボタンです。
⑲ 再生時間を早めたり、遅くしたりするスライドバーです。

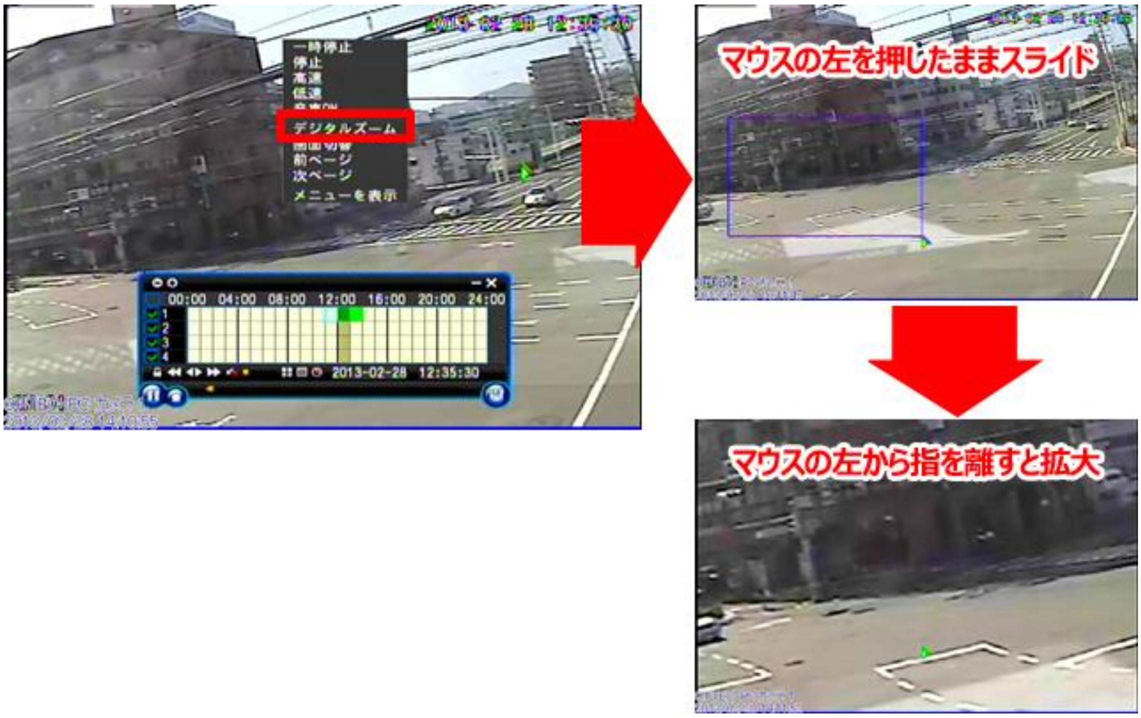
再生時には画面上で右クリックしていただくと一時停止などの機能が使用できます。
一時停止、停止、早送り（高速)、スロー再生（低速)、音声 ON、画面切替、メニューを表示（非表示）はグラフの画面と同じ操作になります。

デジタルズーム機能
デジタルズーム機能は、グラフ画面のなかに操作パネルがございませんので、ご説明と操作方法をご案内させていただきます。※デジタルズームのため画像は粗くなります。

1:拡大したいカメラ映像を左クリック(ダブルクリックではありません)していただいて、右クリックでデジタルズームを選択します。

2:映像が拡大されますので、拡大したいところでマウスの左を押した状態で、マウスをスライドして下さい。
四角の枠が表示されますので、マウスの左から指を離していただくと選択していただいた部分が拡大されます。

3:拡大の解除は画面上でマウス右クリックで解除できます。



6:バックアップについて

録画した映像のバックアップを USB メモリや外付けハードディスクに移行することができます。※一部の USB メモリや外付けハードディスクが認識しない可能性があります。

1：マウスを右クリックして、再生&バックアップを選択します。

2：バックアップしたい日付と時間をグラフに表示させます。

3：グラフのマスを左上の「+」ボタンで拡大していただきまして、バックアップしたい時間帯のマスを選択して下さい。選択すると色が変わります。
取り消す場合は、右クリックで選択を取り消すことができます。
バックアップしたい時間が 2 マス以上になる場合は、左クリックで複数選択も可能です。

4：デジタルレコーダー背面の USB ポートに、バックアップする媒体を接続下さい。

5：グラフ画面の右下にあるフロッピーマークを選択して下さい。
画面が切り替わって、接続している機器が表示されます。
表示されない場合は、真ん中に表示されている「デバイススキャン」を選択して下さい。

6：表示された機器を選択していただくと青く色が変わります。
空き容量と、ファイルサイズの容量を見比べていただきまして、バックアップが可能かご確認をお願い致します。空き容量に対して、ファイルサイズが大きい場合は、時間の指定を変更して下さい。

7：バックアップするサイズの確認が出来ましたら、一番左側の「バックアップスタート」を選択して下さい。バックアップ中からバックアップ完了になったら完了です。

7:バックアップした映像の再生について

バックアップした端末をパソコンに接続して下さい。

Windows メディアプレイヤーなどの、動画再生ソフトを使って再生して下さい。

8:ネットワーク設定について

ネットワーク設定につきましては、LAN 接続から閲覧する方法と、WAN 接続から閲覧する方法で、設定する機器が異なってきます。
当店では、LAN 接続からの閲覧のみサポートさせていただいておりますので、WAN 接続からのアクセスにつきましては、ルーターの会社様へご確認をお願い致します。

LAN 接続とは
同じネットワーク環境内のパソコンやスマートフォンで閲覧する方法です。

WAN 接続とは
異なるネットワーク環境からでもパソコンやスマートフォンで閲覧する方法です。

＜8-1:LAN 接続について＞

パソコンからのアクセス
1：パソコンが接続されているルーターとデジタルレコーダーを、LAN ケーブルで接続して下さい。

2：デジタルレコーダーに IP アドレスなどを設定しますので、パソコンに割り振られている IP アドレスなどの情報を確認して下さい。

1) パソコンのスタートから全てのプログラム→アクセサリ→コマンドプロンプトを起動して下さい。
2) 「ipconfig」と入力して「Enter」を押して下さい。(カッコは不要です。)
3) 表示された項目の中から、IPv4 アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの数字をメモして下さい。(例) 192.168.1.5 255.255.255.0 192.168.1.1 など
4) デジタルレコーダーのネットワーク設定に入って、IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲート、DNS サーバーを設定して保存して下さい。

※ネットワーク設定には、メインメニュー→ネットワーク設定内にあります。

(例)

上記の例を参考に設定する数値をご案内いたします。

① IP アドレス＝IPv4 アドレス 192.168.1.までは同じです。最後の数字は他のネットワーク機器に割り当てられていない任意の数字を入力下さい。

(例) 192.168.1.10 など

②サブネットマスク 255.255.255.0

③ゲートウェイ＝デフォルトゲートウェイ 192.168.1.1

④ DNS サーバー 192.168.1.1

3 : パソコンのインターネットエクスプローラーを起動します。

4 : アドレスバーの部分にデジタルレコーダーに設定した IP アドレスを入力します。

(例) 192.168.1.10

5 : アドオンの実行画面がポップアップ表示されますので許可して下さい。

許可出来ない場合や、ブロックされる場合は一時的に ActiveX を全て有効にしてください。

「設定方法」

インターネットオプション→セキュリティ→レベルのカスタマイズを選択

「ActiveX コントロールとプラグイン」のアイコンが付いた全ての項目を有効にして保存して下さい。保存後にブラウザを再起動して、IP アドレスを入力下さい。

無事に設定が出来たら、ActiveX の設定は規定値に戻して大丈夫です。

6 : 監視画面が表示されますので、UserName と Password を入力して Login してください。

UserName と Password はデジタルレコーダーの設定です。

(初期設定) UserName : admin Password : なし (空白)

7 : ログインが出来たら防犯カメラ映像が表示されます。

IE11 をご使用のお客様は下記設定を行って下さい。

【互換表示設定】

ツールから互換表示設定を選択して下さい。

「追加する Web サイト」に接続先の IP アドレス、またはダイナミック DNS を入力して追加して下さい。その後、ブラウザを更新してログインが出来るかご確認をお願いします。

スマートフォンやタブレットからのアクセス

初めにパソコンから接続を行ってから、スマートフォンなどは設定を行って下さい。

レコーダーが接続されているルーターに、スマートフォンを Wi-Fi 接続した状態で設定を行っていただくとスムーズに進めることができます。

1：無料アプリをダウンロードします。

アプリ名：QMEye

【iPhone は APP ストアよりダウンロード】

【Android は Play ストアよりダウンロード】

2：LoginFree を選択してログインします。

3:DeviceManage を選択します。

4:画面右下の虫眼鏡マークを選択します。

※スマートフォンがルーターに Wi-Fi 接続出来ない場合は、画面左下のボタンから「AddDevice」を選択して手動登録が必要となります。

5:同じネットワークのレコーダーを検索して表示します。

※検索されない場合は、画面右上の虫眼鏡マークを押して再検索して下さい。

6:表示されたレコーダーの IP アドレス右側にある矢印を選択します。

AddDevice を選択して下さい。

7:各項目の入力・選択を行います。

【iPhone の場合】

Name→任意の名前

ConnectionMode→Cloud を選択

CloudID→入力済み
UserID→レコーダーのユーザーID（初期値：admin）
Password→レコーダーのパスワード（初期値：空白）
MaxChannel→4 を選択
StreamType→Sub を選択
入力が出来たら画面右上のフロッピーマークで保存して下さい。

【Android の場合】
Alias→任意の名前
Linkmode→P2P を選択
CloudID→入力済み
UserID→レコーダーのユーザーID（初期値：admin）
Password→レコーダーのパスワード（初期値：空白）
Channels→4 を選択
StreamType→Sub を選択
入力が出来たら下側の+マークで保存して下さい。

8:登録が出来ましたので、スマートフォンで映像が見れる状態となります。

詳細なアプリの操作方法や画面は随時更新予定です。

＜8-2:WAN 接続について＞

始めに、世界中で繋がっているインターネット網から、特定のデジタルレコーダーにアクセスするためには、特定できる手段が必要になります。
これが、固定 IP アドレスやダイナミック DNS というサービスになります。

LAN 内（自宅内）では LAN 内だけのネットワーク環境のため、
デジタルレコーダーへのアクセスも容易（割り当てられる機種が限られるため）ですが、
世界中ともなると、検索も難しい状況のため、上記のようなサービスを使用します。

「固定 IP アドレスとは」

固定 IP アドレスとは、各ネットワーク回線に割り当てられる、住所みないたものになります。これは契約しているプロバイダが自動的に割り当てるもので、定期的に IP アドレスが変わっていきます。

この IP アドレスを固定することができれば、デジタルレコーダーを特定することが可能と

なるため、外出先からのアクセスも可能となります。

固定 IP アドレスはプロバイダのサービスとなりますので、提供しているプロバイダと、提供していないプロバイダもあり、提供している場合は、月額使用料が発生する場合がほとんどです。

「ダイナミック DNS とは」
次にダイナミック DNS についてですが、これは、固定 IP アドレスに変わるサービスとなりまして、定期的に変動する IP アドレスを自動で識別してくれるサービスです。

このサービスを使用すると、任意のアドレスを設けて、外出先からデジタルレコーダーの特定が可能となります。

ダイナミック DNS は無料のサービスから有料のサービスまで、たくさんの種類がございますが、ルーターメーカー様がご用意されるサービスが比較的設定が簡単で、安心して使用することが可能です。国内メーカー様ですと、アイ・オー・データ様やバッファロー様が該当いたします。

「設定していくための手順について」
まずは固定 IP アドレス、もしくはダイナミック DNS のどちらかをご用意していただきます。
次に、ルーターの設定で、デジタルレコーダーに設定した IP アドレスに対して、ポート開放の設定が必要となります。
ポート開放の設定は、ルーター会社様が設定方法を教えて下さいます。
開放するポートは 3 つで、初期設定では 7777／80／8888 となっております。
全て TCP プロトコルでの開放設定が必要となります。

9:FAQ

Q:ハードディスクを接続しても本体が起動しません。
・ハードディスクを抜いた状態で起動するか確認して下さい。
・電源アダプタがカメラと入れ替わっていないかご確認下さい。(レコーダー用:12V2A)

Q:IE11 でログイン画面が表示されません。
A: ツールから互換表示設定を選択して下さい。
「追加する Web サイト」に接続先の IP アドレス、またはダイナミック DNS を入力して追加

して下さい。その後、ブラウザを更新してログインが出来るかご確認をお願いします。